

あなたのキャリアを パワーアップ!

無料

福島大学
大学院経済学研究科

公開授業・相談会開催

福島大学大学院経済学研究科では、連携協力協定を結んだゼビオ株式会社などの協力を得て、平成20年度より郡山教室にて一部授業を開講しています。ここに下記のとおり授業を公開すると共に大学院授業科目の履修や入学に関する相談会を実施しますので、大学院入学や授業科目の受講をお考えの方、または興味をお持ちの方は、この機会に是非お出かけください。

日時 **11月23日(土)** 平成25年
【公開授業／13:00～14:00】
【相談会／14:10～15:00】

場所 福島大学大学院経済学研究科郡山教室
郡山市駅前一丁目14-1 増子駅前ビル5階



公開授業科目・講師

「中小企業のグローバル化」

西川 和明 教授

授業概要

中小企業の海外進出が今までと異なる形で進展しています。これまで中小企業の海外進出というと大規模製造企業のサポーターインダストリー形成の一翼を担うというイメージで捉えられていたわけですが、最近ではそれだけでは語ることのできない新たな展開を見せています。

一つは、日本中小企業が作る製品・部品の品質の確かさに対する評価が海外でも高まってきていることです。今までですと、大手企業ブランドの製品の中に部品として組み込まれていて、なかなか表に出てこなかった中小企業の技術力ですが、生産現場が海外に移ってきたことから、部品そのものが海外で取引されるようになって、直接目に触れるようになって来たということが言えるでしょう。

二つ目は、こうした製造分野に加えて、今まで「内需型」と言われてきた業種で海外進出する中小企業も増えていることです。このように今までと違って来た最近の「中小企業のグローバル化」事情についてお話しします。

申込方法

メール、FAXまたは電話にて、**氏名、連絡先をお知らせください。**
メール:kpj@econ.fukushima-u.ac.jp FAX:024-548-3182 TEL:024-548-8429
締切:11月21日(木)(会場の関係上、先着20名とさせていただきます。)

入学試験のご案内

第II期関係の入試	試験科目等	募集人員	出願期間	試験日
一般入試 第II期	専門科目、外国語、面接	経済学5人	平成26年1月20日(月)～	平成26年2月15日(土)
社会人特別入試 第II期	面接のための資料作成、面接	経営学6人	1月23日(木)	

※詳細については、募集要項を下記担当までご連絡いただいで入手のうえ、ご確認ください。(ホームページでもご覧いただけます。 <http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)



国立大学法人
福島大学
Fukushima University

入試・募集要項に関するお問い合わせ

入試課 TEL:024-548-8064 メール:nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp

修学・科目等履修生に関するお問い合わせ

教務課 TEL:024-548-8356 メール:k-somu@adb.fukushima-u.ac.jp

公開授業・相談会についてのお問い合わせ

経済経営学類支援室 TEL:024-548-8429 メール:kpj@econ.fukushima-u.ac.jp

福島大学大学院 経済学研究科 について

経済学研究科は経済学・経営学の専門知識の修得と研究能力の養成を目指し経済学専攻・経営学専攻の2専攻・4コースからなります。

2013年度から「地域産業復興プログラム」「会計税務プログラム」を新たに開始しました。前者は放射能災害からの農業復興を主題としたもので「ふくしま未来食・農教育」プログラムとして文科省より支援を受け世界的にも前例のないカリキュラムとなっています。



※「プログラム」とは特定のテーマについて学ぶ院生のために体系的に編成された科目群のことです。

働きながら学びたい方に適した各種プログラム・制度

地域産業復興プログラム

- フィールドにおける実践を通じた研究教育 (PBL: Project Based Learning) を重視し、福島県をはじめとする日本の地域産業復興の担い手となるエキスパートを養成するためのプログラムです。
- 夜間・集中講義の受講で修士課程修了の単位を取得することが可能です。
- 経済学、産業政策に関する基礎科目の他に、地方財政論、地域政策論、産業復興学などの応用科目、現場での放射能測定や汚染マップ作成に関する実習や復興計画・除染計画・損害賠償に関する担当者から政策・制度の解説を行います。(※科目群は変更の可能性があります)
- 地方行政の復興担当部門職員、農業団体・協同組合職員、福島NPO・NGO職員、大学生・社会人、地域の関連企業等の方等、地域産業復興の実務家・専門家を目指す方にお勧めです。

会計税務プログラム

- 本学OB、地元会計専門家との協力のもとに、次世代の会計専門家を養成するためのプログラムです。本プログラム受講者は、会計・税務に関する科目群を集中的に学びます。
- 研究者による理論的な講義だけでなく、実務家による実践的な講義を提供します。
- 現代と会計学、租税法特論、税務会計特殊研究、会計学原理特殊研究、財務諸表論特殊研究、価値創造会計特殊研究、原価計算論特殊研究、管理会計特殊研究、コストマネジメント特殊研究などを開設しています。(※科目群は変更の可能性があります)
- 経理マン、商業高校教諭、ビジネスマン、税理士など会計専門家を目指す方にお勧めです。

就業帰りでも学べる

昼夜開講体制

5時限 (16:20-17:50)
6時限 (18:00-19:30)
7時限 (19:40-20:50)
に開講する授業もあります。

2年分の授業料で3年間又は4年間計画で学べる

長期履修学生制度

通常の修業年限である2年間の課程を、3年間又は4年間とあらかじめ計画し、許可を得て修学した場合の制度です。2年間分の授業総額分をあらかじめ認められた一定の修業年限で除した額にして、それぞれの年に納めていただくもので、授業料が増額することはありません。※一般学生と同様に授業料が値上げされる場合があります。

より実践的な履修モデル

実務家・特定課題研究モデル

修士論文を必修の修了要件とはしない履修モデルも設定しています。「実務家・特定課題研究モデル」と呼ばれるもので、実務経験に基づく調査などの実践を積み重ね、職業経験・実務経験などに関連した特定課題について「研究レポート」を作成、審査を経て修了となる、より実践的な履修モデルです。(修士論文を執筆するモデルもあります。)

1科目からでも学べる

科目等履修生

大学院の授業を1科目からでも学べる制度です。試験に合格すれば、単位も認められます。出願期間(前期授業は2月下旬、後期授業は8月下旬を予定)と出願書類がありますので、教務課 科目等履修生担当(電話:024-548-8053)までお問い合わせください。

土日開講 の 郡山教室

郡山駅前に大学院経済学研究科の郡山教室を設けています。

ビジネス最前線で活躍する方々を客員教員として招聘し、最新の実践・研究動向について学べる科目群を設置しています。

平成25年度の授業スケジュール(例)

※平成26年度については準備調整中です。

授業	講師	スケジュール	時間
ビジネスモデル	川上 昌直 兵庫県立大学教授	4/20・5/11・5/25・6/8・6/22・7/6 計6回	225分×6回
組織論	三崎 秀央 兵庫県立大学教授	6/1・6/15・6/29・7/27・8/4・8/10・8/31 計7回	150分×2回 210分×5回
実践的Newマーケティング論	畦地 裕 三菱UFJリサーチ&コンサルティング チーフコンサルタント	9/7・9/14・9/21・10/5・10/19 計5回	270分×5回
キャリア開発と ビジネスコミュニケーション	松田 満江 リカレントキャリア代表	10/12・10/26・11/2・11/30・12/7 計5回	270分×5回

大学院経済学研究科の授業内容については、福島大学経済経営学類ブログでもご案内しています。

<http://www.econ.fukushima-u.ac.jp/>